

農業塾第9講 秋冬野菜の播種②と定植後の管理

今回は、秋冬野菜の播種②と定植後の管理について講習会を行いました。今回の秋冬野菜は、ユリ科とマメ科。ユリ科野菜の代表は玉ねぎ・にんにく・にら・ねぎなど、マメ科はそらまめ・えんどう・いんげんなど、どれも栄養価が高く保存性の高いものが多いようです。



圃場実習の様子



ユリ科野菜講義の様子

最初に室内にて講義を行い、続いて圃場実習では2班に分かれて種まきと管理作業を行いました。

写真（左）は、ニンニク播種の様子。ニンニクの種子を5cmほどの深さで、垂直に植え付けます。

1～2週間程度で芽が出てくるので、あらためて土をかけます。

写真（右）はユリ科野菜の講義の様子。JA指導員が主にタマネギ・ニンニクについて説明しました。



マメ科野菜講義の様子



圃場実習の様子

写真（左）はマメ科野菜の講義の様子。JA指導員が主にソラマメ・エンドウについて説明しました。

写真（右）は圃場管理実習の様子。JA指導員が定植中の作物について、いま行うべき管理作業等について説明しました。